

一面の緑とおいしい空気にも感動 とても楽しかった農業体験



松村夏美さん
(緑が丘中3年)

農家での体験はすべて初めてで、とても新鮮でした。最初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、農家の方々が温かく接してくれたので、だんだんと会話も弾むようになり自然と笑う回数も増えていきました。また、部屋の窓からは神奈川では見られないようなきれいな景色が広がっていて、それが今でも一番印象に残っています。たくさんの事を学べた本当に貴重な2日間でした。



桑島航汰さん
(緑が丘中3年)

僕は、今回の農業体験は、ビニールハウスでの手押しトラクターでの耕しやトウモロコシの苗植えなどの作業をしました。農作業をして感じた事は、食べ物のありがたみです。こんなに体全体に力を入れて、とても苦労して作る野菜は、農家の方々の努力の結晶だと思います。僕らが食事に困ることなく生活を送れるのは、たくさんの努力があってからこそだと思います。



丸山瑞季さん
(緑が丘中3年)

私はこの農業体験であぜ道の草集めをさせていただきました。草を集めている時に足を踏み外して田んぼに落ちてしまい、こういうことを上手にできる農家の方は本当にすごいと思いました。家族の方々は私たちに郷土料理を振る舞ってくれたり観光名所に連れていってくれたり、温かく接してくださいました。私は平泉を訪れることができ本当に良かったと思っています。



茂泉友也さん
(緑が丘中3年)

僕が修学旅行の農業体験を通じてうれしかったことは、初めてすることばかりで何も分からない僕たちに、だれでも分かるように教えてくれたことです。僕はタケノコ掘り、ハウス内の草むしり、等々を手伝わせていただきました。中でもタケノコ掘りは今しかできない体験なので良かったです。とても良い修学旅行になりました。ありがとうございました。



上 初めて田んぼに入っ
ドキドキ！(千葉とみ子さ
ん宅宿泊生徒)ノ右、こう
すればいいんだよ。くわの
使い方を熱心に学んだ
(佐々木正さん宅宿泊生徒)



真剣に取り組んだリンゴの摘果作
業 (山平勝夫さん宅宿泊生徒)



作業の合間に笑顔でパチリ！(青木長
男さん、小野寺賢二さん宅宿泊生徒)

修学旅行で農業体験を「ひら
いずみ型農業実践協議会(丸山
安四会長)では事業の一環とし
て、農業体験学習の受け入れを
行っています。今年は5月31日
に神奈川県相模原市立緑が丘中
学校の3年生125人が来町。
36戸の農家に分かれて民泊し、
田植え作業や牛の世話、畑作業
などを体験しました。今月号で
は、受け入れてくださった農家
の方々と、生徒たちの感想を紹
介します。



今年初めて行われた全体での対面式。2日
目にはお別れ式も行われた=平泉体育館



佐々木えみ子さん
(20区)

わが家には今回、4人の男の子が訪れました。
初日はあいにくの雨模様だったため、ハウスの中でトウモロコシの種まきと、サトイモの定植作業をしてもらいました。くわの扱いや小型耕運機の操作を熱心に学び「腰にきた〜」「農家の仕事は思ったより大変!」と話しながらも、一生懸命に取り組んでいました。

晴天となった2日目は、観音山から一帯を眺めた後、田植えを体験してもらいました。はだして田んぼに入った子どもたちは大歓声を上げ、楽しみながら苗を植えていたようです。
4人はまじめで礼儀正しく、農作業のほか、食事の準備も積極的に手伝ってくれ、私も大助かりでした。受け入れには不安があることもありますが、子どもたちとの触れ合いはいつも楽しく感じます。今後も町内に受け入れの輪が広がっていきければうれしいです。



青木長男さん
(14区)

わが家では今回、3人の男の子を受け入れました。
初日は雨が降り、何をしてもらおうかと悩みましたが、ちょうどハウスの作業が残っていたので、トウモロコシとエンドウ豆の種まきを体験してもらうことにしました。畑作業を初めて体験する子どもたちは興味津々。私も一緒に楽しみながら教えることができました。

作業の後は、近所の受け入れ農家と一緒に、うすときねを使ったもちつき体験と恒例の焼肉パーティーを行いました。焼肉やもちのほか、出した八斗料理も「おいしい、おいしい」と全部食べてくれ、うれしかったです。
2日目はパーティーの後片付けと観光巡りをし、昼食を食べた後、全体のお別れ式に向かいました。式で聞いた子どもたちの合唱がとても上手で、受け入れの思い出とともに、深く印象に残りました。